

はい、では第7課のパート2の文法の説明をします。まず8番なんですけれども、「XはYに当たる」というので、意味はですね、X corresponds to、あるいはis equivalent to Yという意味なんですけど、ちょっと具体的に例文を見てみましょう。例えば4番ですよ、英語の「プレジデント」に当たる言葉は、日本語の場合、会社では「社長」、大学では「学長」、米国政府では「大統領」ですというので、「The word that is equivalent to English president」という使い方なんですけれども、もちろんこんな風に、Xは何々に当たるというプレディケートとして使ってもいいです。例えばですね、「彼女は私の母の姉の娘ですから、私のいここに当たります」、こんなのも大丈夫です。

はい、次なんですけれども、「Sentence (という) ことになる」なんですけど、これですね、こんな風に文があって何々ということになるなんですけど、コンテキストによってこれ色々な意味が出てきますから、コンテキストでちょっと自分で判断しなくってはいけません。例えば、ちょっと3番を見ましょう。3番から行きましょう。「今のうちに勉強しておかないと、後で卒業できないということになるかもしれない」。この場合には、end upというニュアンスが出てくるかもしれません。これもそうですね、「家賃が上がったので、引っ越さなければいけないことになってしまった」。これも、「I ended up」という意味が出てくるかもしれません。ただですね、こんな例文もあります。例えば、「この寮ではタバコを吸ってはいけない」というこれはオプショナルなんですけど、「行けないことになっている」。これは日本語5で勉強したんですけれども、「何々ことになっている」、「It has been decided」何かルールを言う時例えば、「日本語のクラスでは英語を話してはいけないことになっている」。これと間違わないようにしてください。

はい、次、10番なんですけれども、これはですね、何々という傾向、傾向ってというのはtendencyの意味です、と云ってのこれはオプショナルなんですけれども何かセンテンスモディファイアですよというま、「という傾向がある」、literal translation ではthere is a tendency such thatブラブラブラ」というここはですね、ノンパストのプレインフォームをお願いします。例えば、「日本の学生は高校までよく勉強するが、大学に入ってからあまり勉強しない傾向がある」。もちろん、「傾向が見られる」というあの、「tendency is seen」というようなそんなプレディケートもここに来ることができます。

はい、えっと11番です、11番のパターンはですね、もし、このもし、これ自体あのifという意味があるんですけれども、そしてセンテンスとしたらあの英語で言ったらifなんですけれども、ここにありますよね、「It emphasizes that speaker is presenting the situation as a hypothetical one」というので、あのなんですか、ハイポシーズだですよということを強調しているエンファサイズしているところがあります。例えば1番ですよ、「もしタイムマシンがあるとしたら、どの時代に行って誰に会ってみたいですか」。あのもちろんこのもし、ってのはオプショナルなんですけれども、「タイムマシンがあるとしたら、どの時代に行って誰に会ってみたいですか」、こんな使い方です。で、ここはいつもですね、ノンパストのプレインフォームですので、気をつけてください。

はい、えっと12番のNounが~する、これはですね、あのオノマトペ、ちょっと勉強しましたけれども日本語5でオノマトペのあのパターンなんですけれども、何かオノマトペあそしてするっていう、いつもするバーブが来るんですけれども、まずあのちょっと日本語のオノマトペですけれども、ここから見て分かるようにパターンとしてはいつもそのレペティションですよ、ガタガタ、キラキラ、それからドキドキ、シクシク、ほとんどのオノマトペがこんな風に

レペティションがあります。もちろん100%じゃないと思うんですけども、これま頭がガンガンする、このオノマトペっていうのはですね、本当に覚えていかなくちゃいけないんですけども、何か痛い時例えば頭がガンガンする、それから歯の時にはですね、歯がシクシクする、これはまたあのクラスで、またオノマトペの復習をしながら、それぞれあの文を見ていきますので、それまで待っていてください。

はい、えっと次、13番ですけれども、「くせ」という言葉なんですけど、まずあのこのくせって、これはですね、part of speechはnounです、ですから例えばnounの後に in spite of何々、それからなadjectiveとかが来た時には何々な忘れないでください。くせに、例えばこんな風に「貧乏なくせに」いいですね、それからあのナウンの時例えば「女のくせ」ですよ、それから adjectiveの時にはdirect modificationです、例えば「忙しくせに」センテンスの時にはこれ、プレインフォームで「くせに」なんですけれども、あの意味としてはですね、そのspeaker's anger, frustration, or disagreementとあるんですけども、よくこんなことを日本人の人が言います、例えば「女のくせに料理が下手だ」、「料理が下手だ」とかなんかちょっとあの、日本人のあの女の人へのあの discriminationがありますけれども、いいですか、よくでも使う例えば、「女のくせに強すぎる」とかですね、こういう時によくくせを使います。それからですね、ここでちょっと気をつけて欲しいのがサブジェクト、この2つのクローズのサブジェクトは同じでなくっちゃいけません。だからこんな場合、メアリーはまだ学生のくせに、両親はこれはだからダメです。こんな時にはのにを使います。メアリーはまだ学生なのに、両親は彼女に高い車を買ってやった。そ、それを気をつけてください。

はい、えっと14番です、14番はあの話言葉の縮約形contrasted formなんですけれども、ま、日本が話す時に例えばですね、早く起きなくちゃ、起きなくてははいけません。忘れちゃうよ、忘れてしまうよ、こう色々なコントラクトのあのフォームがあるんですけども、え、これまたあのクラスで色々練習しますので、えっとビデオではあの詳しく説明しません。

はい、えっとじゃあ15番、えっと最後の文法ですけれども、え、この文の1番最後にですね、何々、え、この(という)てのはこれはあのオプショナルなんですけれども、わけではないというので、えっとま、英語で言う"It is not the case that"というそんなパターンだと、だとていうか、そ、そう、このえ、この英語が多分自然じゃないかなと思うんですけども、え、例えば1番、漢字が下手だと言っても全然書けないわけではない。もちろん、書けないというわけではない。あ、"It is not the case that I cannot write at all"というですか、それからですね、えっと5番をじゃあちょっと見てみましょうか、あの人が嫌いなわけではないんですけども、"It is not the case that I dislike that person"、デートしたいとは思いません、え、こんな使い方です。はい、じゃこれで、えっと第7巻の文法の説明を終わります。